

市町内交通分析シート

1. 路線の概要			
市町名		路線名	
鯖江市		循環線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
ハピラインふくい鯖江駅	福井鉄道神明駅	ハピラインふくい鯖江駅	11.5
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標				
年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	5,912	5,912	6,855	6,852
年間利用者数 (人) (b)	32,995	35,423	49,343	61,653
平均利用者数 (人) (b/a)	5.6	6.0	7.2	9.0
国庫補助額 (千円)	4,752	5,118	6,874	7,086
市町補助額 (委託額) (千円)	17,568	16,178	15,883	15,221

3. 当該路線の必要性	
①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 ハピラインふくい線
②利用の状況	福井鉄道神明駅・公立丹南病院・市役所・西山公園・ハピラインふくい鯖江駅など、市内の主要起点を周回する路線であり、つつじバス利用者全体の約45%を当路線が占める。
③当該路線の必要性	市街地中央部に集積する生活関連施設を循環することによって、現在の施設立地状況に対応した機能強化、各地区路線との乗継の確保による利便性の高いサービスを提供する必要がある。

4. 接続する広域路線		
路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅

5. 生産性向上に関する取組み	
R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	新たな取り組みとして、イベント情報や突発的な運行経路の変更、運休等を新たなSNSツール(Twitter, Instagram)を活用してバス停掲示以外の面での発信を行った。多くの方から好評をいただいている。 また、鯖江高校と連携し、バス停表示看板デザインを一新した。 さらに、バス車両の更新と合わせてバスラッピングのデザインも更新し、SNS等でアピールすることで、つつじバスのPR、周知に努めた。 その他、昨年度に引き続き、各地区高齢者サロンにも出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施することで利用促進に努めた。(実績：10回) 結果として、昨年度比で利用者数が約25%増加し、コロナ禍前の水準に近い実績となった。
今後の取組みの予定、目標	令和5年度に引き続きSNSツールを活用したつつじバスのPRを実施し、さらなる利用者増を図る。 また、新たに市内公共温浴施設と連携したお得な制度の実施や、一部区間においてバス停留所以外の場所でも降車できるフリー降車制度を導入する。 その他、デマンド交通なども検討し、利用者の利便性向上に努める。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		鯖江南・新横江線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
嚮陽会館	ハピラインふくい鯖江駅東口	ハピラインふくい鯖江駅	13.7
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数(回) (a)	1,324	1,324	1,325	1,324
年間利用者数(人) (b)	1,784	1,872	1,887	1,982
平均利用者数(人) (b/a)	1.3	1.4	1.4	1.5
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	5,154	4,703	5,817	5,849

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 ハピラインふくい線
②利用の状況	鯖江市の新横江地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約1.5%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	市内南部において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点であるハピラインふくい鯖江駅、嚮陽会館を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	新たな取り組みとして、イベント情報や突発的な運行経路の変更、運休等を新たなSNSツール(Twitter, Instagram)を活用してバス停掲示以外の面での発信を行った。多くの方から好評をいただいている。 また、鯖江高校と連携し、バス停表示看板デザインを一新し、SNS等でアピールすることで、つつじバスのPR、周知に努めた。 その他、昨年度に引き続き、各地区高齢者サロンにも出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施することで利用促進に努めた。(実績: 10回) 結果として、昨年度比で利用者数が約5%増加した。
今後の取組みの予定、目標	令和5年度に引き続きSNSツールを活用したつつじバスのPRを実施し、さらなる利用者増を図る。 また、新たに市内公共温浴施設と連携したお得な制度の実施や、一部区間においてバス停留所以外の場所でも降車できるフリー降車制度を導入する。 その他、デマンド交通なども検討し、利用者の利便性向上に努める。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要			
市町名		路線名	
鯖江市		神明線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
公立丹南病院	ハピラインふくい北鯖江駅 西口	福井鉄道神明駅	14.6
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標				
年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	1,568	1,568	1,685	1,684
年間利用者数 (人) (b)	5,980	6,494	5,919	8,402
平均利用者数 (人) (b/a)	3.8	4.1	3.5	5.0
国庫補助額 (千円)	1,780	1,925	2,416	2,210
市町補助額 (委託額) (千円)	5,371	4,945	4,939	5,076

3. 当該路線の必要性	
①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 ハピラインふくい線
②利用の状況	鯖江市の神明地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約6%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	神明地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道神明駅、ハピラインふくい北鯖江駅を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線		
路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅・ハピラインふくい北鯖江駅

5. 生産性向上に関する取組み	
R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	新たな取り組みとして、イベント情報や突発的な運行経路の変更、運休等を新たなSNSツール (Twitter, Instagram) を活用してバス停掲示以外の面での発信を行った。多くの方から好評をいただいている。 また、鯖江高校と連携し、バス停表示看板デザインを一新した。 さらに、バス車両の更新と合わせてバスラッピングのデザインも更新し、SNS等でアピールすることで、つつじバスのPR、周知に努めた。 その他、昨年度に引き続き、各地区高齢者サロンにも出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施することで利用促進に努めた。(実績：10回) 結果として、昨年度比で利用者数が約42%増加した。
今後の取組みの予定、目標	令和5年度に引き続きSNSツールを活用したつつじバスのPRを実施し、さらなる利用者増を図る。 また、新たに市内公共温浴施設と連携したお得な制度の実施や、一部区間においてバス停留所以外の場所でも降車できるフリー降車制度を導入する。 その他、デマンド交通なども検討し、利用者の利便性向上に努める。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		片上・中河線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
福井鉄道神明駅	ハピラインふくい北鯖江駅 東口	公立丹南病院	20.9
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	片上・北中山線		片上・中河線	
	R2	R3	R4	R5
年間運行回数(回) (a)	2,300	2,300	1,685	1,684
年間利用者数(人) (b)	6,059	6,276	3,722	4,158
平均利用者数(人) (b/a)	2.6	2.7	2.2	2.5
国庫補助額(千円)	3,516	3,801	3,300	3,167
市町補助額(委託額)(千円)	11,341	10,485	5,732	5,912

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 ハピラインふくい線
②利用の状況	鯖江市の片上・中河地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約3%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	片上地区、中河地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点であるハピラインふくい北鯖江駅や福井鉄道神明駅を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅・ハピラインふくい北鯖江駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	新たな取り組みとして、イベント情報や突発的な運行経路の変更、運休等を新たなSNSツール(Twitter, Instagram)を活用してバス停掲示以外の面での発信を行った。多くの方から好評をいただいている。 また、鯖江高校と連携し、バス停表示看板デザインを一新した。 さらに、バス車両の更新と合わせてバスラッピングのデザインも更新し、SNS等でアピールすることで、つつじバスのPR、周知に努めた。 その他、昨年度に引き続き、各地区高齢者サロンにも出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施することで利用促進に努めた。(実績：10回) 結果として、昨年度比で利用者数が約12%増加した。
今後の取組みの予定、目標	令和5年度に引き続きSNSツールを活用したつつじバスのPRを実施し、さらなる利用者増を図る。 また、新たに市内公共温浴施設と連携したお得な制度の実施や、一部区間においてバス停留所以外の場所でも降車できるフリー降車制度を導入する。 その他、デマンド交通なども検討し、利用者の利便性向上に努める。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		立待線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
神明苑	公立丹南病院 福井鉄道神明駅	神明苑	13.1
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数(回) (a)	1,568	1,568	1,685	1,684
年間利用者数(人) (b)	6,065	6,931	7,511	7,735
平均利用者数(人) (b/a)	3.9	4.4	4.5	4.6
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	5,180	4,779	6,481	6,507

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線
②利用の状況	鯖江市の立待地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約6%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	立待地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道神明駅を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	新たな取り組みとして、イベント情報や突発的な運行経路の変更、運休等を新たなSNSツール(Twitter, Instagram)を活用してバス停掲示以外の面での発信を行った。多くの方から好評をいただいている。 また、鯖江高校と連携し、バス停表示看板デザインを一新した。 さらに、バス車両の更新と合わせてバスラッピングのデザインも更新し、SNS等でアピールすることで、つつじバスのPR、周知に努めた。 その他、昨年度に引き続き、各地区高齢者サロンにも出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施することで利用促進に努めた。(実績：10回) 結果として、昨年度比で利用者数が約3%増加した。
今後の取組みの予定、目標	令和5年度に引き続きSNSツールを活用したつつじバスのPRを実施し、さらなる利用者増を図る。 また、新たに市内公共温浴施設と連携したお得な制度の実施や、一部区間においてバス停留所以外の場所でも降車できるフリー降車制度を導入する。 その他、デマンド交通なども検討し、利用者の利便性向上に努める。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		吉川線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
神明苑	公立丹南病院 福井鉄道神明駅	神明苑	17.3
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数(回) (a)	1,812	1,812	2,045	2,044
年間利用者数(人) (b)	8,693	6,931	8,959	9,741
平均利用者数(人) (b/a)	4.8	3.8	4.4	4.8
国庫補助額(千円)	0	0	2,831	3,174
市町補助額(委託額)(千円)	7,520	6,924	6,687	6,368

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線
②利用の状況	鯖江市の吉川地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約7%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	吉川地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道神明駅を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
鯖浦線	福鉄バス	神明駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	新たな取り組みとして、イベント情報や突発的な運行経路の変更、運休等を新たなSNSツール(Twitter, Instagram)を活用してバス停掲示以外の面での発信を行った。多くの方から好評をいただいている。 また、鯖江高校と連携し、バス停表示看板デザインを一新した。 さらに、バス車両の更新と合わせてバスラッピングのデザインも更新し、SNS等でアピールすることで、つつじバスのPR、周知に努めた。 その他、昨年度に引き続き、各地区高齢者サロンにも出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施することで利用促進に努めた。(実績：10回) 結果として、昨年度比で利用者数が約9%増加した。
今後の取組みの予定、目標	令和5年度に引き続きSNSツールを活用したつつじバスのPRを実施し、さらなる利用者増を図る。 また、新たに市内公共温浴施設と連携したお得な制度の実施や、一部区間においてバス停留所以外の場所でも降車できるフリー降車制度を導入する。 その他、デマンド交通なども検討し、利用者の利便性向上に努める。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		豊線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
ハピラインふくい鯖江駅	嚮陽会館 福井工業高等専門学校	ハピラインふくい鯖江駅	13.5
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数(回) (a)	1,568	1,568	1,930	1,928
年間利用者数(人) (b)	6,642	5,976	10,500	13,576
平均利用者数(人) (b/a)	4.2	3.8	5.4	7.0
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	8,256	7,644	7,859	7,765

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 ハピラインふくい線
②利用の状況	鯖江市の豊地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約10%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	豊地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点であるハピラインふくい鯖江駅や嚮陽会館を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	新たな取り組みとして、イベント情報や突発的な運行経路の変更、運休等を新たなSNSツール(Twitter, Instagram)を活用してバス停掲示以外の面での発信を行った。多くの方から好評をいただいている。 また、鯖江高校と連携し、バス停表示看板デザインを一新した。 さらに、バス車両の更新と合わせてバスラッピングのデザインも更新し、SNS等でアピールすることで、つつじバスのPR、周知に努めた。 その他、昨年度に引き続き、各地区高齢者サロンにも出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施することで利用促進に努めた。(実績：10回) 結果として、昨年度比で利用者数が約29%増加した。
今後の取組みの予定、目標	令和5年度に引き続きSNSツールを活用したつつじバスのPRを実施し、さらなる利用者増を図る。 また、新たに市内公共温浴施設と連携したお得な制度の実施や、一部区間においてバス停留所以外の場所でも降車できるフリー降車制度を導入する。 その他、デマンド交通なども検討し、利用者の利便性向上に努める。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要			
市町名		路線名	
鯖江市		北中山・中河線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
禰陽会館	ハピラインふくい鯖江駅	ハニー東陽店(川島北)	15.4
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標				
	中河・北中山線		北中山・中河線	
年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数（回）（a）	2,776	2,776	2,765	2,764
年間利用者数（人）（b）	3,428	3,610	3,940	4,493
平均利用者数（人）（b/a）	1.2	1.3	1.4	1.6
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	11,566	9,949	9,697	9,758

3. 当該路線の必要性	
①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 ハピラインふくい線
②利用の状況	鯖江市の北中山・中河地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約3%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	北中山地区、中河地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点であるハピラインふくい鯖江駅や禰陽会館を連絡することによって、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線		
路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み	
R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	新たな取り組みとして、イベント情報や突発的な運行経路の変更、運休等を新たなSNSツール(Twitter, Instagram)を活用してバス停掲示以外の面での発信を行った。多くの方から好評をいただいている。 また、鯖江高校と連携し、バス停表示看板デザインを一新し、SNS等でアピールすることで、つつじバスのPR、周知に努めた。 その他、昨年度に引き続き、各地区高齢者サロンにも出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施することで利用促進に努めた。(実績：10回) 結果として、昨年度比で利用者数が約14%増加した。
今後の取組みの予定、目標	令和5年度に引き続きSNSツールを活用したつつじバスのPRを実施し、さらなる利用者増を図る。 また、新たに市内公共温浴施設と連携したお得な制度の実施や、一部区間においてバス停留所以外の場所でも降車できるフリー降車制度を導入する。 その他、デマンド交通なども検討し、利用者の利便性向上に努める。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
鯖江市		河和田線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
嚮陽会館	ハピラインふくい鯖江駅	鉾泉前	15.2
運賃体系		1回乗車あたり100円(小学生以下および障がいのある方は人等は無料)	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数(回) (a)	3,264	3,264	5,055	5,052
年間利用者数(人) (b)	16,464	16,513	22,025	24,380
平均利用者数(人) (b/a)	5.0	5.1	4.4	4.8
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	16,893	15,717	17,871	16,289

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線 ハピラインふくい線
②利用の状況	鯖江市の河和田地区を網羅する路線であり、つつじバス利用者全体の約18%を当該路線が占める。
③当該路線の必要性	河和田地区、北中山地区において、地区内の集落を巡回し、主要乗継拠点であるハピラインふくい鯖江駅や嚮陽会館を連絡することによって、より身近なところへバス停を設けるなどきめ細かい対応によって公共交通による人口カバー率向上を目指し、誰もがどこへでも歩いて行ける交通環境を実現する必要がある。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	新たな取り組みとして、イベント情報や突発的な運行経路の変更、運休等を新たなSNSツール(Twitter, Instagram)を活用してバス停掲示以外の面での発信を行った。多くの方から好評をいただいている。 また、鯖江高校と連携し、バス停表示看板デザインを一新し、SNS等でアピールすることで、つつじバスのPR、周知に努めた。 その他、昨年度に引き続き、各地区高齢者サロンにも出向き、バスのお得な制度や利用方法、乗り継ぎ方法を教える講座を実施することで利用促進に努めた。(実績: 10回) 結果として、昨年度比で利用者数が約10%増加した。
今後の取組みの予定、目標	令和5年度に引き続きSNSツールを活用したつつじバスのPRを実施し、さらなる利用者増を図る。 また、新たに市内公共温浴施設と連携したお得な制度の実施や、一部区間においてバス停留所以外の場所でも降車できるフリー降車制度を導入する。 その他、デマンド交通なども検討し、利用者の利便性向上に努める。